



## 連合福島&県労福協 2025 新春交歓会



# 新しい社会・経済のステージが定着し、生活が向上・発展する年へ ～勤労者の生活の向上、経済の好循環の実現、復興・創生の更なる前進に取り組む～



挨拶する澤田精一連合福島会長

県労福協との共催による2025年新春交歓会は、1月7日(火) ホテル福島グリーンパレスで約230名の出席のもと開催した。フリーアナウンサーの古川ゆき枝氏の進行で会は進められた。

オープニングのアトラクションは、口笛奏者の柴田晶子さんとシンガーソングライターの藤野恵美さんの祝奏にて会に花を添えた。

佐藤一夫県労福協副会長の開会挨拶に続き登壇した澤田精一県労福協・連合福島会長が、主催者を代表して『今年の干支は「乙巳(きのとみ)」。乙巳(きのとみ)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展する」と言われます。

新しい社会・経済のステージが定着し、私たちの生活が向上・発展する年にして行きましょう』と挨拶した。



ご挨拶をいただいた来賓の皆さま

また、来賓を代表して、内堀雅雄福島県知事、井口真嘉福島労働局長、金子恵美・立憲民主党県連代表代行、渡部優生・国民民主党県連代表代行、狩野光昭・社会民主党県連代表、亀岡義尚・県民連合副会長、木幡浩福島市長から祝辞を頂戴した。その後、澤田会長はじめ多くの来賓の方々が壇上にて鏡開きを行い、今野泰県労福協副会長の乾杯の発声で、一年の飛躍を誓い合った後、歓談に入り親睦を深め合った。

恒例のお楽しみ福引抽選会では、日帰り温泉ペアチケットやグラフィートトースター、さらには電動歯ブラシ等が当たり、新年早々幸運に恵まれた方々から喜びの歓声が上がった。最後に八巻正一県労福協副会長の挨拶をもって、大盛況の中2025年新春交歓会は閉会となった。



藤野恵美さんと柴田晶子さんの口笛演奏

澤田会長はじめ多くの  
ご来賓の皆さまと鏡開き

会場の皆さま